

(3) 公 民

1 設置科目及び履修要件

(カッコ内は標準単位数)

公 共 (2)	必履修科目
	新設
倫 理 (2)	新設
政治・経済 (2)	新設

→ **ここがポイント!**

- 「公共」
…必履修科目として**全ての生徒が学習**。
- 「倫理」「政治・経済」
…選択履修科目として「公共」で育んだ資質・能力を用いて、社会的事象等を広く深く探究。

今回の特徴

2 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。

→ **ここがポイント!**

各科目の特質に応じた「社会的な見方・考え方」を働かせることで、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする学習の一層の充実が求められる。

3 各科目の内容

公 共	A 公共の扉 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち
倫 理	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 B 現代の諸課題と倫理
政治・経済	A 現代日本における政治・経済の諸課題 B グローバル化する国際社会の諸課題

4 各科目の履修に関する配慮事項

- 「公共」を原則として入学年次及び次の年次の2か年のうちに履修すること。
- 「公共」を履修した後に選択科目である「倫理」及び「政治・経済」を履修。
- 「公共」及び「倫理」の内容について、以下のように取り扱うこと。

科 目	大項目及び中項目
公 共	A 公共の扉 (1) 公共的な空間を作る私たち (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方 (3) 公共的な空間における基本的原理 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち
倫 理	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 B 現代の諸課題と倫理

A (1)・(2)・(3), B, Cの順序で取り扱う。

A, Bの順序で取り扱う。

5 新学習指導要領の趣旨や内容に対応した授業の創造

「何ができるようになるか」～公民科において育成をめざす資質・能力～

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題についての理解 ・ 諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力 ・ 合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度 ・ 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，人間としての在り方生き方についての自覚 ・ 国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚

「何を学ぶか」～公民科において重視する学習内容・学習活動～

《公共》

- 社会に参画する際に選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論及び公共的な空間における基本的原理の習得
- 公共的な空間における基本的原理等を活用して現実社会の諸課題を自ら見出し，考察，構想する学習
- 持続可能な地域，国家・社会，国際社会づくりに向けた主体となることについて探究する学習

《倫理》

- 先哲の考え方を手掛かりとしてより広い視野から多面的・多角的に人間としての在り方生き方について思索
- 国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索
- 倫理的課題について思索を深め，自己の生き方の確立を図り，他者と共に生きる主体を育むための学習

《政治・経済》

- 政治・経済の特質を総合的・一体的に捉え，現代日本や国際社会の諸課題について，その解決に向けて広く深く探究する学習
- 複雑な現実社会の諸課題について，合意形成や社会形成を視野に入れながら，課題の解決に向けて探究する学習

公民科

現代の諸課題の解決を視野に入れ，各科目の特性を踏まえて社会的事象を考察
現代社会の構造，人間と社会の関わり等に着眼

公共

現代社会の諸課題の解決に向け，自己と社会との関わりを踏まえ，社会に参画する主体として自立することや，他者と協働してよりよい社会を形成すること等について考察する。

必履修科目で育んだ資質・能力を用いて，さらに専門的な視野から，社会的事象等を広く深く探究

倫理

他者と共に生きる主体を育むために，現代に生きる人間の倫理的課題について探究し，自立して思索する。

政治・経済

国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たす主体を育むために，現実社会の諸課題を広く深く探究する。

「どのように学ぶか」～主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業実践の例】「少子高齢化に伴う人口減少問題」

【問い】「私たちは，人口減少社会を見通した持続可能な社会の仕組みづくりにどのように関わることができるか。」

I 課題の設定

- ・ 生徒自ら課題を設定する。
- ・ 問いを立てる。



課題が更新され，新たな探究の過程へ

II 情報の収集と読み取り・分析

- ・ 課題の探究に役立つと思われる資料を収集する。
- ・ 資料から情報を読み取り，分析する。



IV 自分の考えの説明・論述

- ・ 「発表会」で自分が考察したことを説明する。
- ・ レポートを作成する。

III 課題の探究

- ・ 課題の解決に向けて，幸福・正義・公正などに着目しつつ，事実を基に協働して考察・構想する。